

2024年
9月号

赤れんが通信

北海道

今回の赤れんが通信9月号では、7月1日に行われた済州DAYのお話や、7月17日に清田高校で行った韓国文化講座の話、そして北海道外国人相談センターについてご紹介します。

初めて会う日本人高校生

「清田高校」での韓国文化講座

7月17日、清田高校を訪問し、韓国地域の紹介をテーマに韓国文化講座を実施しました。講座では北海道と友好協定を結んでいるソウル、釜山、慶尚南道、済州の4地域を取り上げました。慶尚南道と済州は簡単に位置と人口数、特徴などを説明し、ソウルについては概要とともに観光地を、釜山については観光地と有名な食べ物を中心に紹介しました。



▲清田高校で講座を行う姿

講座が終わった後は学校を見学させていただきました。生まれて初めて訪れた日本の高校は私にとって新たな体験でした。入口にある下駄箱や、壁に飾られた書道部の作品、廊下の窓越しに見える黒板に書かれた日本語まで。今まで韓国語が書かれた黒板だけを見て育った私にとって、高校のすべての風景が新鮮そのものでした。

日本の学生たちと講座を通して交流できたことも新しい経験でした。講座が終わって数日後、先生を通じて学生たちが書いた感想文を受け取りました。その感想文には、講座内容で特に印象に残ったことや、韓国に行く際の必需品、韓国人の美しい肌についての質問などがたくさん書かれていました。感想文を貰ったお陰で、日本人が興味を持つ韓国文化をある程度、把握でき、授業中には聞けなかった学生たちの考えや質問を聞けてすごく嬉しかったです。また、感想文を貰ったのは初めてだったので、文字を通してのコミュニケーションに魅力を感じました。予想以上に多くの学生が釜山を田舎だと思っていたことには少し驚きました。

済州 DAY パネル展示会

7月1日、グランドメルキュール札幌大通り公園ホテルで、駐札幌大韓民国総領事館主催で開催された「北海道で出会う済州」が開催されました。北海道は2016年から済州島と友好協定を結び、現在まで交流を続けています。そのため、北海道はイベント内で済州島とのこれまでの交流について紹介するパネルを製作し、展示を行いました。パネルには友好協定を結んだ過程や交流事業についての説明と共に北海道国際交流員の情報を載せました。そのパネルを作った私は、パネルを見に訪れた参

加者の皆さんに北海道と済州の交流事業である「青少年交流」や5周年を迎え行った「オンライン声楽デュエット公演」などを説明し、交流事業への理解を深めました。

北海道で出会う済州は駐札幌大韓民国総領事館のホームページを通じて200人ほどの参加応募者の中から抽選で選ばれた方が招待されて行われました。イベントでは、日本人の専門家を招いて「済州島観光」と「韓国のお茶の種類」についての講義が行われました。済州島は幼い頃に一度しか行ったことがないところだったので、詳しくは知りませんでしたが、講義を通して済州島の観光地やおいしい食べ物などの話を聞けて、すごく勉強になりました。韓国



▲済州DAY展示パネルの前で撮った写真



▲済州式油菓とブラウニー

のお茶の種類に関する講義では、ホッケ茶やドングルレ茶など、日本ではあまり見られない韓国のお茶を紹介し、それぞれのお茶の効能についてお話を聞けました。加えて、済州島から持ってきたお菓子とともに、韓国の「ホッケ茶」を試飲する時間もありました。

講義で一番印象深かったのは、韓国のお茶の種類が日本よりも多いことでした。個人的には、日本は抹茶やウーロン茶といったお茶を好んで飲むイメージが強く、お茶の種類も多いのではと思いました。しかし、お茶の種類の方では韓国の方が多様だということが分かり、韓国のお茶について改めて考えさせられました。特に韓国はプーアル茶やコンブ茶のようにダイエットや健康に良いお茶の種類が多いです。今後、韓国に訪問する予定のある方は、帰国のお土産として韓国のスーパーのお茶コーナーでお茶やコーヒーを購入してみたいはいかがでしょうか？



▲韓国スーパーのお茶コーナー

突撃！北海道外国人相談センター取材

皆さんは悩み事がある時、誰に相談をしますか？私は韓国人の友達に相談します。しかし、いつも悩み相談をしてくれる友達でも、「日本生活での悩み事」には具体的な答えを出してもらえないでしょう。そんな時、日本に住む外国人は誰に相談すればいいのでしょうか？このような問題でお悩みの方には「北海道外国人相談センター」をおすすめします。

北海道庁別館 12 階には、北海道で設置した「北海道外国人相談センター」という、なんと 10 カ国語を超える多言語で外国人を対象に相談対応をしているセンターがあります。それでは、外国人相談センターではどの言語で、どういった内容の相談ができるのでしょうか。これを調べるために北海道外国人相談センターを訪れ、主任相談員であるエミリー相談員と、韓国人相談員のお二人をインタビューし、センターについての詳細を直接聞いてみました。

取材 1. 石渡エミリー相談員

Q. 簡単な自己紹介をお願いします。

A. こんにちは。アメリカから来た石渡エミリーと申します。私は北海道外国人相談センターで主任相談員として勤務しており、今年で6年目を迎えます。

Q. 相談センターの運営はいつから始まりましたか？

A. 2019年8月から始まりました。

Q. 外国人相談員になったきっかけは何ですか？

A. もともとはPAという、北海道で勤める国際交流員やALT(英語指導助手)を総括する仕事をしていました。その時からいろいろな国際交流員とALTからたくさん相談を受けてきて、私はその仕事にやりがいを感じました。そうして5年という任期が終わり、次の仕事を探している時、北海道に外国人相談センターができるという話を聞きました。そこで、普段、人を助けることでやりがいを感じていた私は相談員になってみようと思ったのがきっかけです。



Q. 相談センターのホームページを見ると、なんと10カ国語で対応していますが、実際に相談対応できる言語には何がありますか？

A. 日本語はもちろん、英語、中国語、韓国語、タガログ語、スペイン語、インドネシア語、タイ語、ミャンマー語、ベトナム語、ネパール語など、非常に多様な言語で相談対応をしています。多言語相談員はシフト制で配置されており、言語ごとに相談できる曜日や時間帯が異なります。しかし、希望する言語の相談員がシフトに入っていない日でも我々は「電話通訳」を通して、いつでも相談できるようにしています。

やさしい日本語 Japanese	英語 English	中国語（簡体字） 中文
ベトナム語 Tiếng Việt	ロシア語 русский	インドネシア語 Orang Indonesia
中国語（繁体字） 中文	韓国語 한국어	タガログ語 Filipino
タイ語 ภาษาไทย	ネパール語 नेपाली	ミャンマー語 မြန်မာ

Q. 相談センターのチラシに「何でも相談できます！」と書かれていますが、実際に外国人が相談を求めてくる内容には何がありますか？

A. 最も多い相談は在留資格などの「入管手続き」に関する相談です。しかし、それ以外にも、自分が飼っている猫のワクチン予約を手伝ってほしいとか、洗濯機を修理したいなどの相談も入ってくるほど、相談内容は様々です。加えて、当センターは出産や育児に関する相談も可能です。時々法律や行政などと関連した相談も入って来たりしますが、その時は相談内容と関連する専門機関にお繋ぎしています。つまり、私たちはどんな相談でも受けています！

<p>何でも相談できます！ <small>無料！</small></p> <p>在留資格（ビザ）、労働（問題）、健康保険、年金、税金、運転免許、教育、結婚・離婚など、生活の困りごとについて相談できます。</p>	<p>ASK US ABOUT ANYTHING! <small>FREE!</small></p> <p>You can consult with us on a variety of daily life issues, such as residence status, work-related issues, health insurance, pension, taxes, driving license, education, marriage, and more.</p>
<p>我们欢迎任何咨询! <small>免费!</small></p> <p>在留资格（签证）、劳动（问题）、健康保险、年金、税金、驾照、教育、结婚·离婚等，任何生活上的困惑都可咨询。</p>	<p>HÃY HỎI CHÚNG TÔI NHÉ! <small>MIỄN PHÍ</small></p> <p>Có thể tư vấn về: Tư cách lưu trú (visa), vấn đề lao động, bảo hiểm sức khỏe, lương hưu, thuế, bằng lái xe, giấy đực, kết hôn, ly hôn, những khó khăn gặp phải trong cuộc sống v.v.</p>
<p>MAGTANONG PO SA AMIN! <small>LIBRE</small></p> <p>Maari kayong kumonsulta sa amin ukol sa iba't-ibang problema sa pang-araw-araw na pamumuhay, gaya ng bisa sa pagtira, problema sa trabaho, health insurance, pensyon, buwis, lisensya sa pagmamaneho, pag-aaral, pagpapakasal, atbp.</p>	<p>TANYA KAMI TENTANG APAPUN! <small>GRATIS</small></p> <p>Anda dapat berkonsultasi dengan kami mengenai berbagai masalah kehidupan sehari-hari, seperti status kependudukan, masalah yang berhubungan dengan pekerjaan, asuransi kesehatan, pensiun, pajak, SIM, pendidikan, pernikahan, dan lain-lain.</p>

▲北海道外国人相談センターチラシの一部

Q. 移動相談会というのもありましたが、移動相談会はどれくらい行われますか？

A. 毎月2~4か所の北海道各振興局に訪問しています。移動相談会はセンターのある札幌までなかなか来れない外国人のために行われていきます。訪問先は地域に在住する外国人の数によって決め、訪問する際は行政書士も同行するようにしています。

Q. 相談センターで作成している「生活情報」とは何ですか？

A. 当センターでは、ヒグマ対策方法や冬の生活など、北海道で生活している外国人のための生活情報を発信しています。そういった生活情報は、相談センターのホームページは勿論、インスタグラムやFacebook、カカオトーク、WeChatなどのSNSにも発信しています。また、当センターでは登録したメールアドレスに生活情報を送る「メールマガジン」サービスも提供しています。メールマガジンは相談センターのホームページから登録いただけます。手元で簡単に生活情報を貰いたい、見たいという方にはSNSのフォローやメールマガジンの登録をおすすめします！

Q. 主任相談員としての活動で一番やり甲斐を感じる瞬間はいつですか？

A. 研修会企画や情報発信業務など、いろいろ担当していますが、最もやり甲斐を感じる時はやはり、相談者から「相談センターがあって本当によかった~」という言葉が貰った時ですね。相談者から感謝の言葉を貰うと、自分が役に立ったことに嬉しさを感じるんです。



◀北海道外国人相談センターHP



取材 2. 韓国人相談員 ※個人情報保護のため、写真や名前は記載していません。

Q. 簡単な自己紹介をお願いします。

A. こんにちは。現在、北海道大学に在学中の留学生で、相談センターで勤務して8ヶ月程になりました。

Q. 外国人相談員になったきっかけは何ですか？

A. 私は去年、言語（日本語）を通じた仕事をしてみたくて、言語関連のアルバイトを捜していました。ちょうどその時、大学の先生から外国人相談センター相談員の仕事の紹介を受け、相談員の仕事を始めることになりました。

Q. 韓国人相談員としてどんな業務を担当していますか？

A. メインの担当業務は韓国人からの相談対応ですが、相談がない時は日本の行政制度や防災、冬の生活ガイドなど、北海道で生活している外国人のための生活情報を韓国人も読めるように韓国語に翻訳しています。それらの生活情報は相談センターのホームページと SNS に掲載しています。

Q. 一番自信のある相談内容は何ですか？

A. 外国の運転免許を日本の運転免許に変える「運転免許証の切替」です。運転免許証の切り替えに関するセミナーや研修会に参加したほど、運転免許証の切り替えについてたくさん勉強しました。運転免許証の切り替えのための手続きから始めて書類、規則、かかる時間などを詳しく知っているので、運転免許証切り替えの相談には自信があります。

Q. 相談が必要な韓国人に相談センターを訪問してもらうためにはどういった努力が必要だと思いますか？

A. 個人的な意見ですが、相談センターがあまり知られていないと思います。通常、相談センターに相談を申込む外国人は、自分の悩みを「どこに相談すればいいのかわからない人」が多いです。しかし、日本に暮らす韓国人は、日本語能力が高い方が多く、どこに問い合わせればいいのかよく知っているようです。しかし、きっと自身の日本語能力では解決できないことで悩んでいる方もい

らっしゃると思います。それで、そういう方々が相談センターを訪ねて来られるよう、相談センターを知ってもらう努力が必要だと思います。それで私なりに周りの人たちに相談センターがあることを伝えていきます。

Q. 韓国語対応相談員としての活動しながら一番やり甲斐を感じる瞬間はいつですか？

A. やり甲斐を感じる瞬間は二つあります。最初に、文量の多い生活情報を翻訳する時です。相談センターで生活情報を作成するとき、外国人も読めるように翻訳作業をします。この際、自分が翻訳したものを読んで「誰かには役に立つ」と思うと、とても胸がいっぱいになります。加えて、翻訳の勉強にもなりますし、自然に生活情報も頭に入るので、個人的にも勉強になる意味深い作業だと思います。

二つ目は、相談にうまく対応できたと感じたときです。相談員は相談を終えると「受付票」というものを作成します。簡単に言えば、報告書のようなものです。主に受けた相談の内容や解決方法、手続きなどを書きますが、相談者から直接、感謝の言葉をもらわなくても、受付票を書く過程で、自分が役に立ったなと思えるとやりがいを感じます。

Q. 最後に韓国人相談員として赤れんが通信を読む「韓国人」に伝えたいメッセージをお願いします！

A. 当相談センターが作った生活情報はとても充実しています。生活情報は相談センターのホームページはもちろん、フェイスブックやインスタグラムなどの SNS にも掲載しているので、それらを読んでいただいて、たくさんの情報を得ただけだと思います。



▲韓国語の生活情報

✓赤れんが通信
バックナンバーは
こちら



✓北海道庁
国際課
FACEBOOK



✓編集者・発行先 総合政策部 国際局 国際課
北海道札幌市中央区北3条西6丁目
TEL: +81-11-204-5091 FAX: +81-11-232-4303